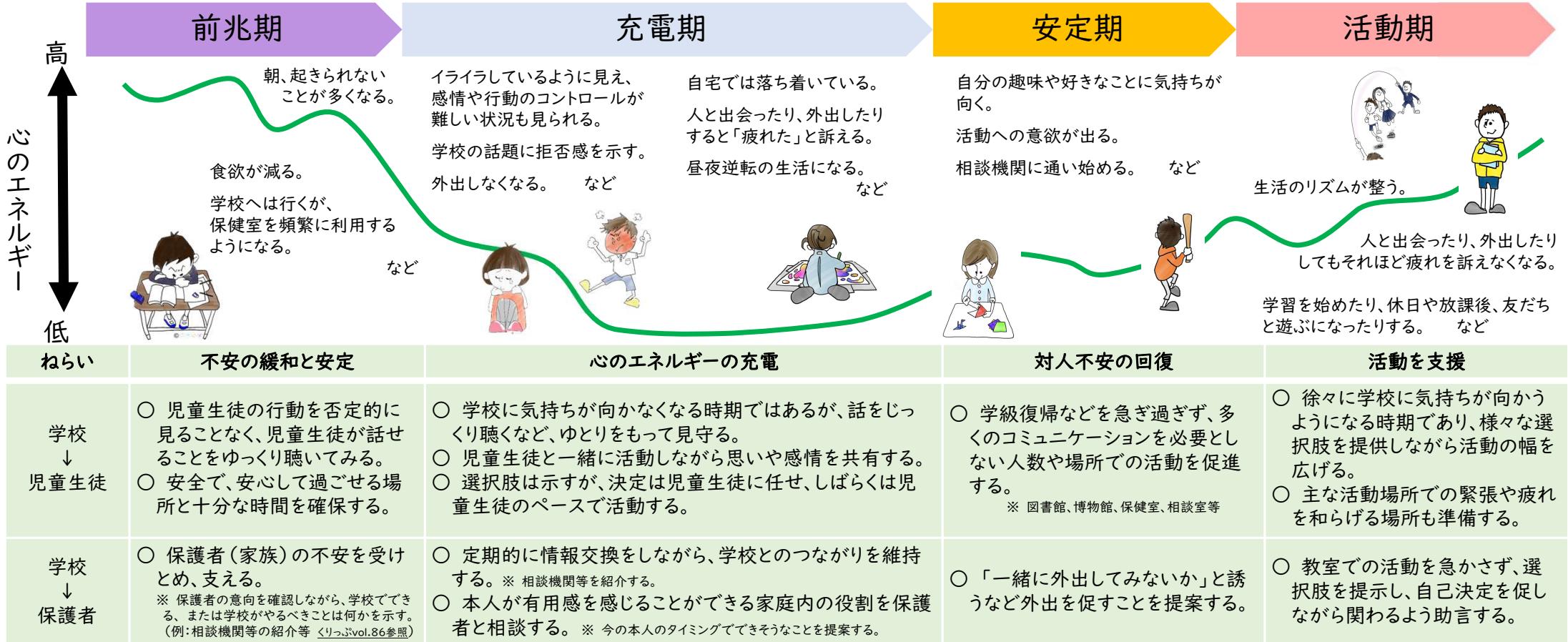


児童生徒の変容を見極めながら、状況にあったかかわり方を考えていきましょう。

～ 一人で悩まずにチーム（管理職、生徒指導主事（担当）、特別支援教育Co、教育相談Co、養護教諭、SC、SSWなど）で支援 ～



安全・安心な環境の提供

理解してくれる大人の存在

心と身体の回復には一定の期間が必要です。「待つ」「見守る」という姿勢が本人を大切に思っているというメッセージとなります。

児童生徒の心の状態を判断する手立ての一つとして、「心のエネルギー曲線」があり、不登校等児童生徒がたどる一般的な過程とされています。ただ、この過程は個々の児童生徒によって異なり、心の状態の低下の程度や時間的な経過も様々であり、支援方法等も絶対的なものではないことには留意が必要です。

全ての児童生徒の「学びたい」に応える

不登校等児童生徒サポートハンドブック



広島県教育委員会事務局 学びの変革推進部
個別最適な学び担当 不登校支援センター

電話や面談、オンライン(Web会議システム)を 活用して相談することができます

● 心のふれあい相談室 (不登校およびいじめに係る相談)

県立教育センター

TEL 082(428)7110

月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)／9時～16時



● 特別支援教育・教育相談部 ※ 広島市立の学校については、広島市教育委員会にご相談ください。

県立教育センター

TEL 082(428)1188

月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)／9時～16時

● こころの相談室 (学校や家庭、友達などに関する相談)

県福山庁舎第1庁舎内

TEL 084(925)3040

火曜・水曜(祝日および年末年始を除く)／10時～17時

● 不登校支援センター(不登校支援およびSCHOOL "S"の利用に係る相談)

県庁東館庁舎内

TEL 082(228)3500

月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)／9時～17時



参考文献 佐賀県教育センター 「～不登校の子どもへの理解と支援のリフレット～子どもの支援者であるすべての教師のために」(平成17年3月)
文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター「生徒指導リーフ Leaf.14 不登校の予防」(平成26年4月)「生徒指導リーフ Leaf.2 「絆づくり」と「居場所づくり」(平成27年3月)
文部科学省「生徒指導提要」(令和4年12月)
独立行政法人教職員支援機構「不登校児童生徒の対応について:校内研修シリーズNo.121 烏取県立精神保健福祉センター 所長 原田豊」(令和5年2月)

全ての児童生徒への充実した支援に向けた取組例

I 児童生徒の内面に 寄り添い、理解する

○ 実態把握(過去・現在・未来)と情報共有

<実態把握内容(例)>
・休み始めた時期・きっかけ・特性
・学校や家庭の環境・人間関係
・児童生徒自身のよさや長所・強み
・課題解決に役立つ人物や機関など

児童生徒の様子や教員の働きかけなどを日々記録する「情報連携シート」を活用して情報を共有しています。

3 「寄り添い」から「向き合い」へ

○ 児童生徒の内面に応じた保護者との連携



全校児童生徒対象の相談週間を設定してみました。

悩みや進路選択など気軽に相談できる支援体制

○ 多様な学びや相談の場の設定

いきなり学校に来ることが難しい場合、校外にいる県市町の教育支援センターを紹介しました。

○ 児童生徒支援会議の実施

支援会議は確実に実施できるように開催する曜日や時間を見定めています。

週明け・週末の欠席や遅刻の状況、家庭状況についても、日常的に連携しています。

○ SC、SSW、特別支援教育Co、生徒指導主事、教育相談Coとの連携

○ 興味・関心のある事柄を活かした取組

興味のある活動(例えばイラスト作成や好きなアニメの紹介)を学習の中に設定してみました。

○ 個々の実態に合わせた支援の検討

見通しがもてない活動への不安を感じる児童に対し、事前に行程や準備物、編成団体を個別に確認したところ、自信をもって活動に臨むことができました。

◆ 家庭訪問では…

「気にかけてる」というメッセージが伝わるよう、児童生徒、保護者とのつながりを継続することを意識してみましょう。担当が変わる際の引継ぎも丁寧に行いましょう。

2 安心できる居場所で自己実現を支える

○ 児童生徒にとっての安全で安心できる居場所づくり

学校に登校することや自分にとっての心地よい居場所を探すことなど児童生徒にとって様々な選択肢を考えてみましょう。

教職員から仕事を募り、SSRのメンバーで協働して取り組む活動(校内清掃、物品整理など)を取り入れてみました。また、個と個のつながりがもてるよう、カードゲームやクッキングなどの活動を実施しています。

○ 選択肢を示しながら、自己決定の場を与え、自己有用感や自己存在感を育成

○ ありのままの自分を認めることができるよう自己肯定感を高める支援

作品など学習の成果物やお気に入りのイラスト・歌詞を掲示して、自分が大切にされていることを感じられるようにしました。

不登校等児童生徒への支援の在り方・考え方を学びませんか

◆ 不登校の未然防止 及び 不登校等児童生徒支援に係るサポート ◆

学校全体で学ぶ

○ 校内研修等に不登校支援センターの指導主事等を派遣しています

※ 児童生徒理解、学校教育相談、SSR等の運営など研修内容は、適宜、ご相談ください

<研修内容(例)>

児童生徒理解

- アセスメントの方法
- 新たな不登校を生じさせないための取組 等

学校教育相談

- 学校教育相談のポイント
- 組織的な相談体制の構築 等

SSR等の運営

- 不登校SSR推進校の取組紹介
- 明日からできる具体的な支援 等

◆ 独立行政法人教職員支援機構(NITS) 動画教材 ◆ 個々で学ぶ

○ 様々なテーマの研修用動画(20分程度)が配信されています

No	テーマ	No	テーマ
9	不登校児童生徒の理解と保護者への支援	125	学級・学年・学校支援につながるスクーリング(実践編)
15	教育相談に関するマネジメントの推進	141	不登校児童生徒の支援と教育相談
89	教育機会確保法と不登校支援施策	162	コーチングのスキルと活用法～不登校解決のためのリソースを探す～
121	不登校児童生徒の対応について	177	教育機会確保法とCOCOLOプラン
124	子どもを救い、チーム学校を形成するスクーリング(理論編)	※ 教育相談・不登校に関連するテーマを抜粋	

NITS HPアドレス <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/theme.html>

◆ 県立教育センター専門講座 (学びプラス) ◆

実習を通して学ぶ

○ 不登校等児童生徒支援にかかる講座を開設しています

※ 詳しい日程等はHPをご覧ください

県立教育センターHPアドレス <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/educenter/>

講座名	ねらい	場所
「SCHOOL "S"」で児童生徒にかかわり、ともに考えよう!	実習及び協議、講義を通して、不登校等児童生徒への支援の在り方について理解する。	県立教育センター
「SCHOOL "S"」で児童生徒にかかわり、ともに考えよう!	実習及び講義、演習を通して、不登校等児童生徒への支援の実際やアセスメント等について理解する。	スクールセラフ内ス